

FM/AM チューナー

KT-6040

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

KENWOOD

はじめに

ケンウッド商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、本説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださるようお願いいたします。また、お読みになったあとも、大切に保存してください。

目次

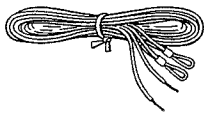
ご注意：△のついた項目は、感電や火災からあなたを守るためにご使用前に必ずお読みください。

| | | | |
|-----------------|----|------------------|----|
| △取扱上のご注意 | 3 | タイマー受信のしかた | 12 |
| 接続のしかた | 4 | 希望の放送局をプログラムする | 12 |
| AMループアンテナの接続 | 4 | ききたい放送局を1回だけ受信する | 13 |
| AM屋外アンテナの接続 | 4 | プログラム順に受信する | 13 |
| FM屋外アンテナの接続 | 5 | FM放送受信時の便利な機能 | 14 |
| 同軸ケーブルの接続 | 5 | 故障と思われる症状ですが | 15 |
| FM簡易アンテナの接続 | 5 | アフターサービスについて | 15 |
| 各部の名称 | 6 | 定格 | 16 |
| リモコンの使いかた | 7 | | |
| 放送受信のしかた | 8 | | |
| オート選局できく | 8 | | |
| マニュアル選局できく | 9 | | |
| 放送を受信し、プリセットする | 10 | | |
| プリセットした放送局を受信する | 10 | | |
| 文字を表示する | 11 | | |

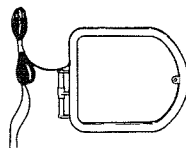
付属品

次の部品がそろっていることを確認してください。

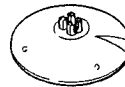
FM用室内アンテナ
(1本)



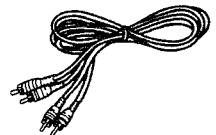
AMループアンテナ
(1本)



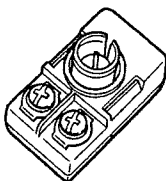
ループアンテナスタンド
(1個)



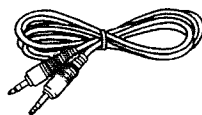
オーディオコード
(1本)



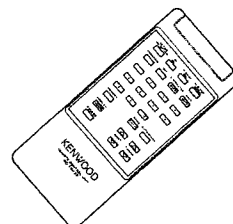
アンテナアダプター
(75Ω/300Ω) (1個)



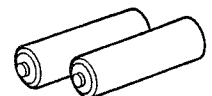
システムコントロールコード
(1本)



リモートコントロールユニット
(1個)



リモコン用単3
乾電池 (2個)

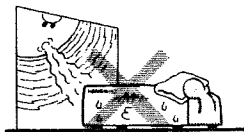


取扱上のご注意

△ この頁は安全確保のために必ずお読みください

■設置上のご注意

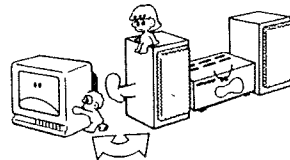
直射日光の当たる所、暖房器具など発熱物の近くは避けてください。



極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。



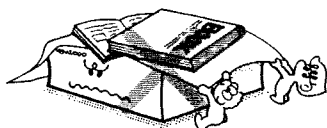
雑音が入る場合は、テレビからできるだけ離してご使用ください。



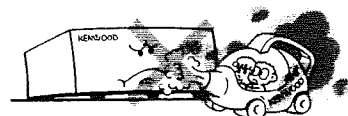
花びん、化粧品など液体の入ったものは、上に置かないでください。また、湿気の多いところは避けてください。



放熱をよくするため、本など、ものをセットの上に置かないでください。また、壁から10cmくらい離して置いてください。



不安定な棚などは避け、ホコリ、震動の少ない水平な場所に設置してください。また、放熱孔をふさぐジュースタン、ソファ、ベッド等の上では使用しないでください。

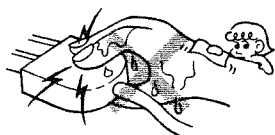


■安全上のご注意

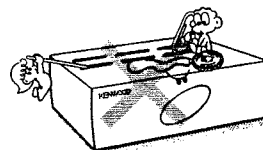
本機は、交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。



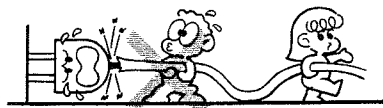
電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行わないでください。感電するおそれがあります。



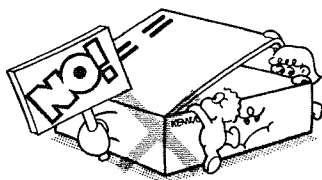
ケースの空気孔等にヘアピン、縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。



電源コードを強くひっぱったり、無理に折り曲げたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは、プラグを持ってください。

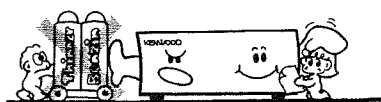


ケースなどはずし、内部に触れることは避けてください。内部に手を触れると感電、故障の原因となることがあります。



■セットのお手入れ

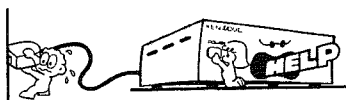
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



■異常にお気づきのさいは

万一、煙が出ている、また変なにおいがするなどの異常がおきたときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速やかに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へご連絡ください。

POWER OFF

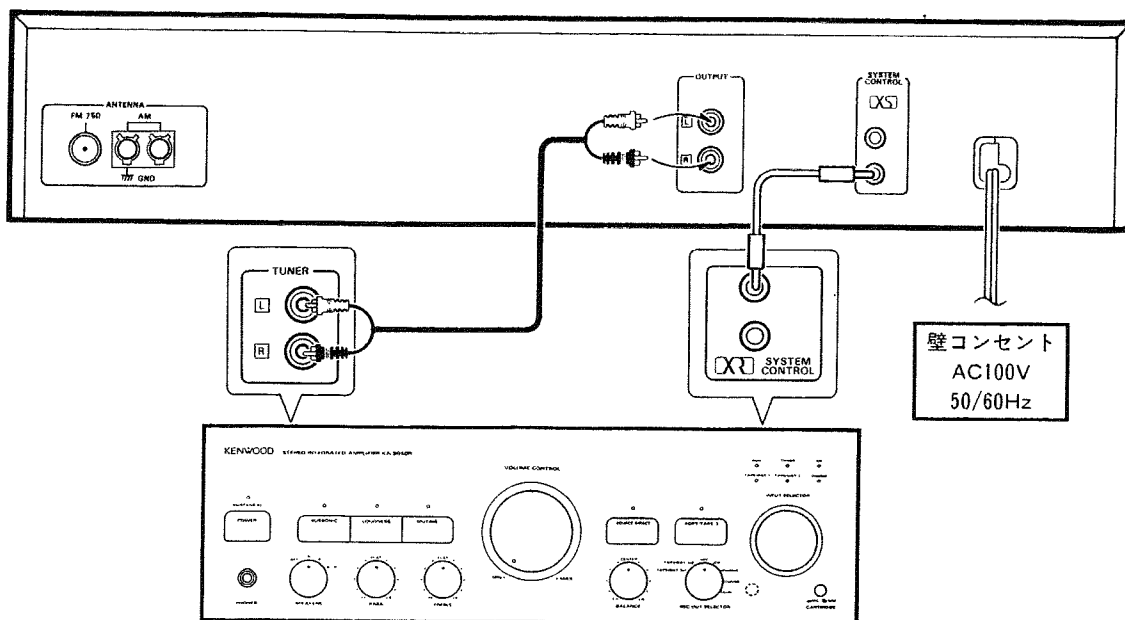


接続のしかた

下図のように接続してください。

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。



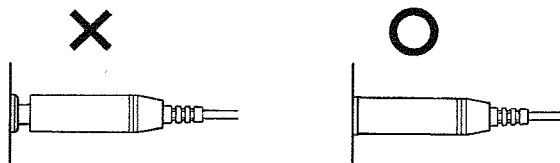
システムコントロール接続について

KENWOODのシステムコントロール端子の付属したアンプに接続することにより、リモートコントロールなどのシステム操作ができます。くわしくはアンプの取扱説明書をお読みください。

アンプにシステムコントロール端子がない場合は、どのシステムコントロール端子にも、なにも接続しないでください。

当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。

- システムコントロールプラグは根もとまで差し込んでください。
- システムコントロールコードとオーディオコードが正しく接続されていないと、リモートコントロールおよびシステム機器相互間の自動システムが動作しませんのでご注意ください。

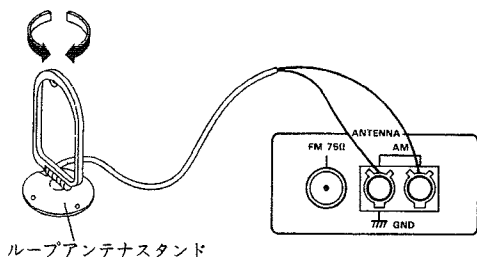


ご注意：

1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

AMループアンテナの接続

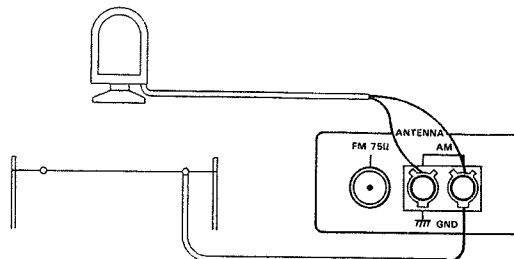
付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態が一番よい方向に向けます。



ループアンテナスタンド

AM屋外アンテナの接続

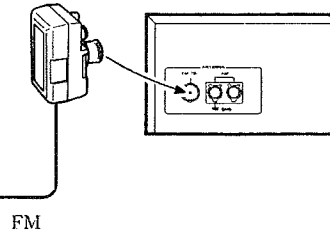
受信状態が悪い場合は、ループアンテナをつないだまま6m以上のビニール被覆線を屋外に張ってください。



■ FM屋外アンテナの接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み、“FM75Ω端子”に接続します。

FM専用アンテナ

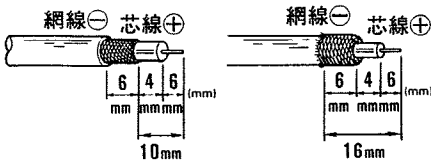


FM

■ 同軸ケーブルの接続

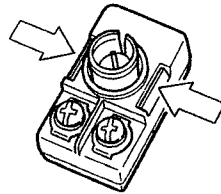
①同軸ケーブルを図のように加工します。

5C-2Vの場合は外装をむいて芯線を出す。3C-2Vの場合は外装をむいて網線を外装に折りかえます。

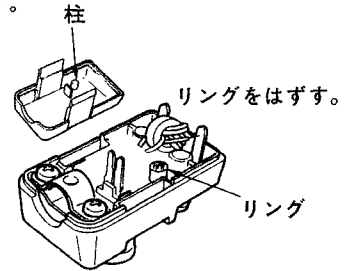


②75Ω/300Ωアンテナアダプターカバーを開けます。

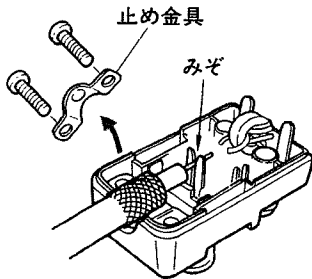
矢印の方向に両側から指で軽く押してロックをはずし、手前に引きます。



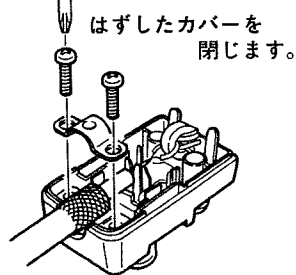
③アンテナアダプター本体からリングをはずし、カバーにある柱にとりつけておきます。



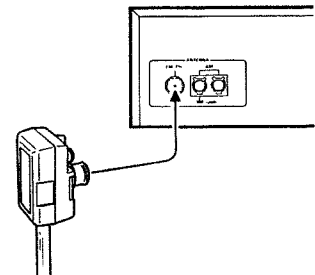
④止め金具をはずし、同軸ケーブルの芯線のみぞに差し込みます。



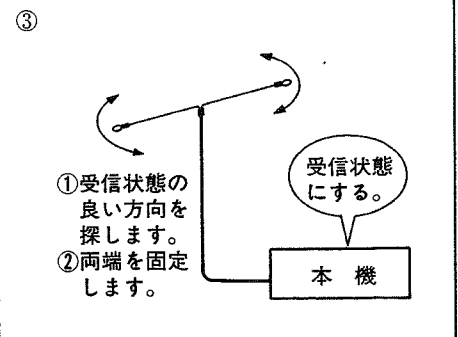
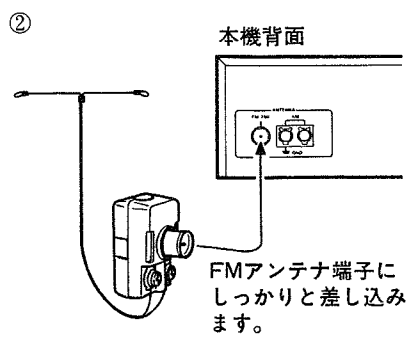
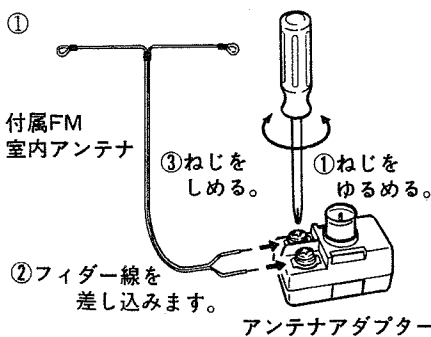
⑤止め金具とねじをドライバーで締めます。



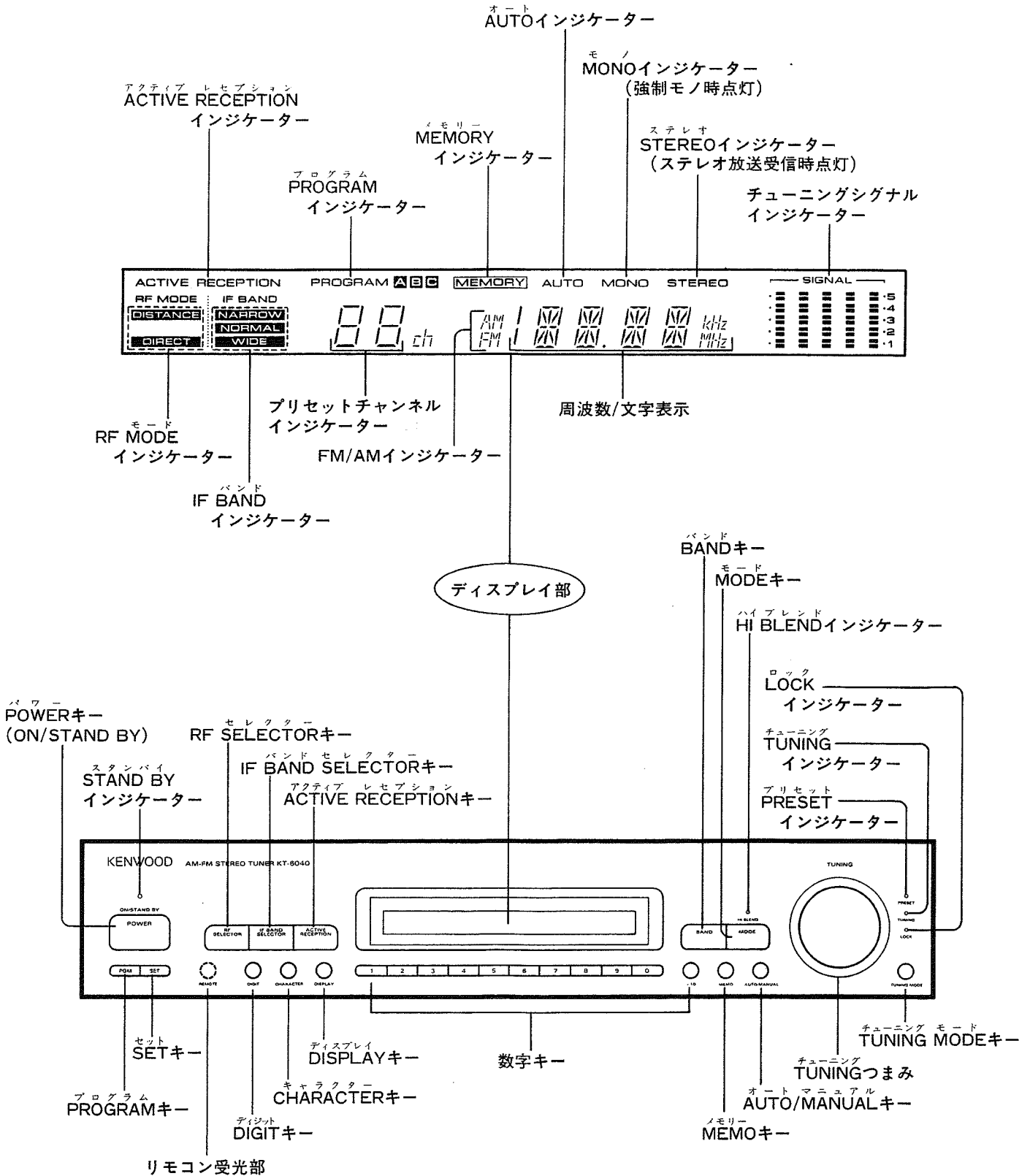
⑥FMアンテナ端子を差し込みます。



■ FM簡易アンテナの接続



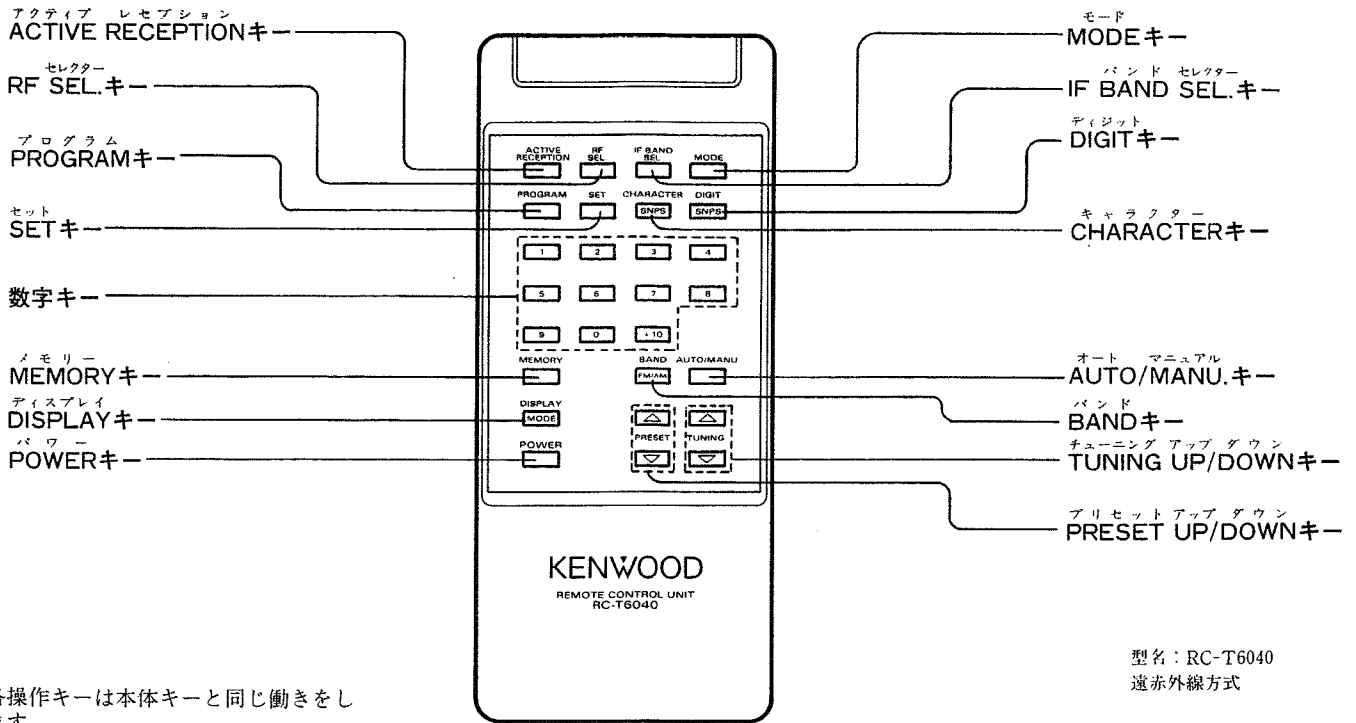
各部の名称



POWERキーのSTAND BYについて

本機では電源プラグをコンセントに接続すると、電源ON/OFFに関係なくスタンバイインジケータが点灯します。これは電源OFF時にも、メモリーの保護のため、微弱な通電を行っているためです。これをスタンバイ状態といいます。スタンバイインジケータが点灯しているとき、リモコン操作によっても電源のON/OFFができます。

リモコンの使いかた

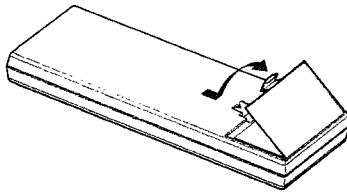


各操作キーは本体キーと同じ動きをします。

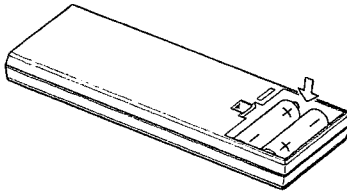
型名：RC-T6040
遠赤外線方式

■電池の入れかた

1 ふたを開ける

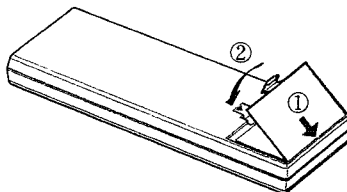


2 電池を入れる



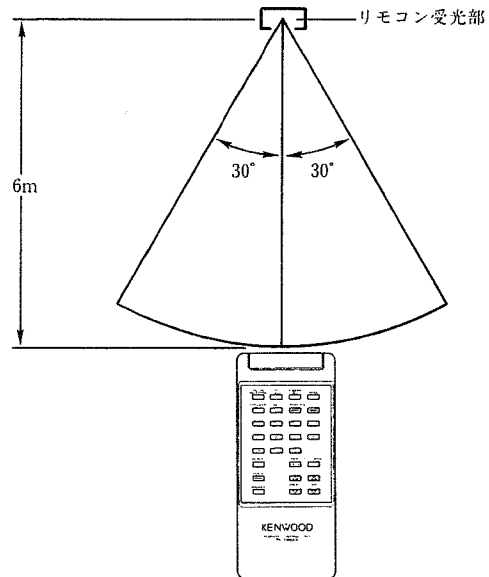
単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

3 ふたを閉める



■操作のしかた

操作範囲



- リモコンの各操作キーを押してから次の操作キーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

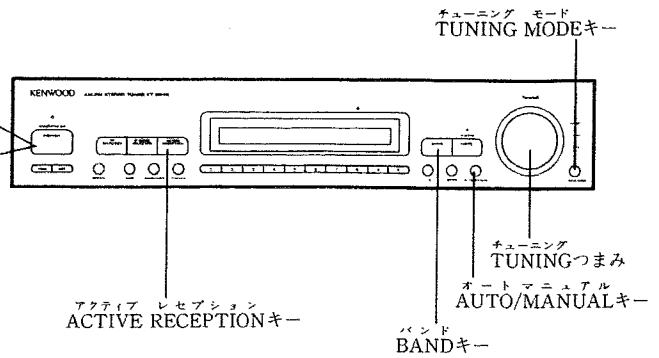
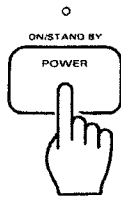
ご注意：

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったなら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

放送受信のしかた

電源をONにする

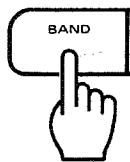
システムコントロールコードで接続したアンプのPOWERキーでもON/OFFができます。TUNERのみ単独にON/OFFしたいときはシステムコントロールコードは接続しないでください。



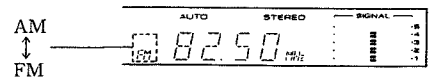
■オート選局できく

1 アンプの入力切換スイッチをTUNERにする

2 放送バンドを選ぶ



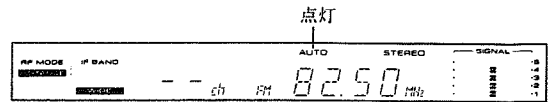
BANDキーを押すごとに放送バンドが切り換わります。



●放送受信に関するキーを押すと、表示は文字表示になっているときでも数秒間、周波数表示になります。

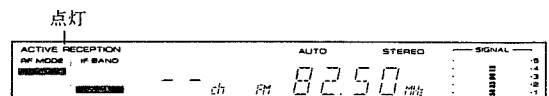
3 AUTO TUNINGモードにする

AUTO/MANUALキーを押す



4 ACTIVE RECEPTIONをONにする

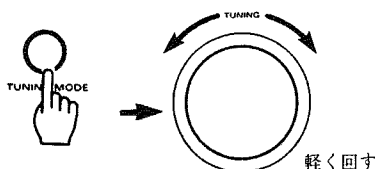
FM放送を適切な状態で受信します



●AM放送受信時は機能しません。(14ページ参照)

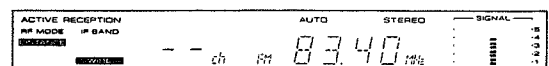
5 希望する放送局を受信する

本体



TUNINGモードにする

リモコン



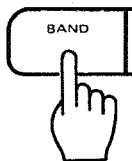
- 周波数の高い局を選ぶときは、TUNINGつまみを軽く右に回します。
- 低い局の時は、左に回します。
- 周波数を自動的に走査して、放送局のある周波数で停止します。

■ マニュアル選局できく

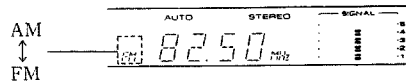
オート選局で選局できない電波の弱い局を受信するときは、マニュアル選局してください。

1 アンプの入力切換スイッチをTUNERにする

2 放送バンドを選ぶ



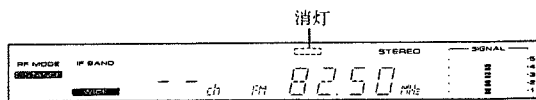
BANDキーを押すごとに放送バンドが切り換わります。



- 放送受信に関するキーを押すと、表示は文字表示になっているときでも数秒間、周波数表示になります。

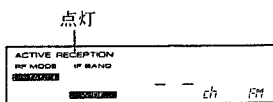
3 MANUAL TUNINGモードにする

AUTO/MANUALキーを押す

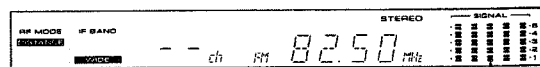


4 ACTIVE RECEPTIONをONにする

FM放送を適切な状態で受信します



- AM放送受信時は機能しません。(14ページ参照)



チューニングシグナルインジケータ

チューニングシグナルインジケータについて

TUNINGつまみを回して放送を受信するとき、同調点に近づくに従って左右どちらかが赤色で点灯。さらに放送局に同調すると、中央の白のインジケータがシグナルの強さによって点灯します。離調するときは、逆の推移をたどっていきます。AM放送受信時は、放送局に同調すると、中央の白のインジケータのみがシグナルの強さに従って点灯します。

ご注意：

電界が不十分なときは、左側と右側のステップが4ポイント以下の表示になったり左右非対称に表示されることがあります。

5 希望する放送局を受信する

本体



TUNINGモードにする

リモコン



- つまみを回し続けると、周波数が連続的に変わります。

TUNING MODEキーについて

TUNING MODEキーを押すごとにTUNINGつまみの機能が切り換わります。



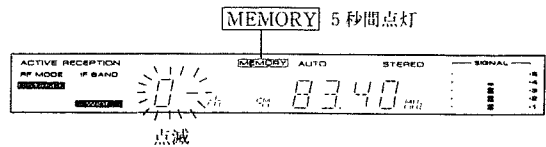
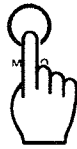
選ばれたモードのインジケータが点灯します。

LOCKモードのとき周波数は固定され、TUNINGつまみを回しても変化しくなくなります。

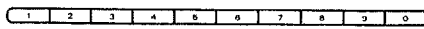
■放送を受信し、プリセットする（記憶させる）

1 放送を受信する

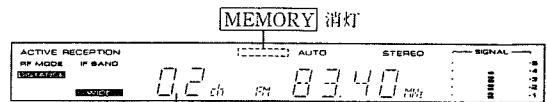
2 MEMOキーを押す



3 記憶させる



MEMORY 点灯中に押す



選ばれた番号が表示される

入力例

10chに記憶させたいとき… [+10], [0]

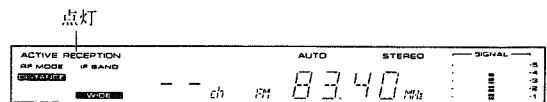
39chに記憶させたいとき… [+10], [+10], [+10], [9]

- 放送バンドに関係なくランダム（無作為）に39局までプリセットできます。
- すでにプリセットした数字キーを押すと、新しい放送局に変わります。

■プリセットした放送局を受信する

1 ACTIVE RECEPTIONをONにする。

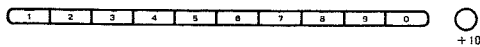
FM放送を適切な状態で受信します



- AM放送受信時は機能しません。

2 希望する放送局を選ぶ

数字キーで選ぶ



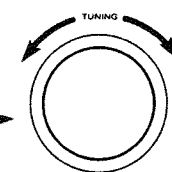
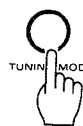
入力例

6 chを受信したいとき… [6]

23chを受信したいとき… [+10], [+10], [3]

順番にさく

本体

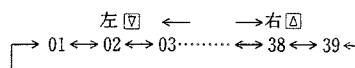


- PRESET
- TUNING
- LOCK

リモコン



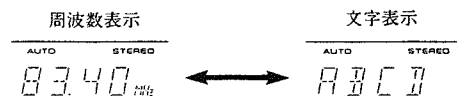
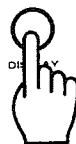
PRESETモードにする



DISPLAYキーについて

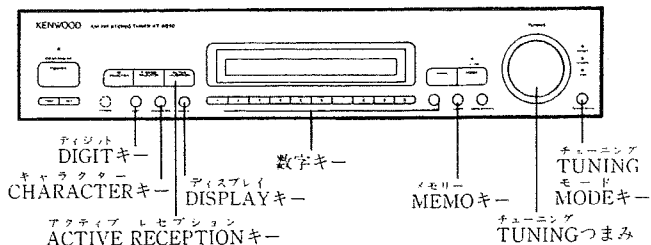
DISPLAY キーを押すごとに周波数表示と文字表示に切り換わります。

文字が入力されていないときは放送バンド (FMまたはAM) が表示されます。



■文字を表示する

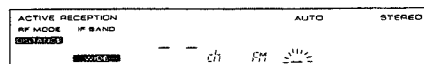
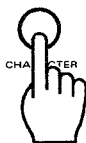
文字や記号などを最大4文字まで表示できます。
プリセットした放送局名を表示するのに便利です。



1 放送局を受信する

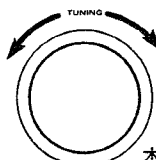
2 文字入力モードにする

CHARACTERキーを押す



3 表示したい文字を入力する

①表示する文字を出す



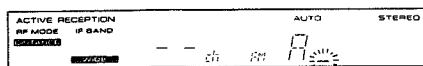
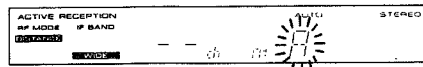
本体



TUNING.



リモコン



点滅が次のけたに移る

②確定する

DIGITキーを押す



③手順①、②を繰り返し、必要な文字入力する

●消したい文字の部分にはスペースを入力します。

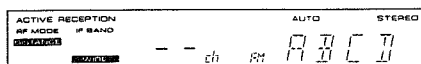
入力できる文字の種類

CHARACTERキーを押したあと
TUNINGつまみを回すか、
TUNINGキーを押すごとに、文字
が表示できます。

→ ABCDE……VWXYZ ←
← / * - + 9 …… 3 2 1 0 ←
└ ブランク (空白スペース)

4 文字入力を終了する

CHARACTERキーを押す

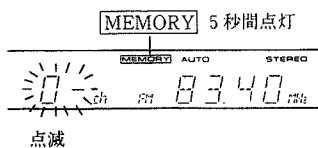


● 4文字入力したときは、自動的に終了します。

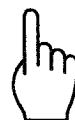
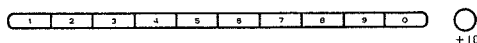
● 3文字以内で終了するときは、確定後、CHARACTERキーを押します。

5 記憶させる

①MEMOキーを押す

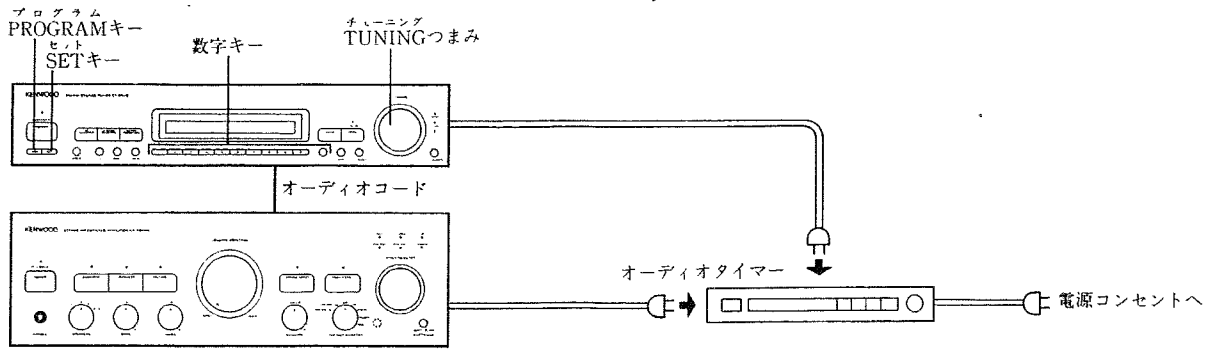


②数字キーを押す



MEMORY点灯中に押す

タイマー受信のしかた

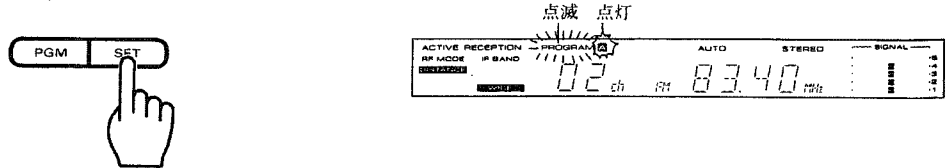


■希望の放送局をプログラムする

本機は、希望の放送局を3局プログラムすることができます。STAND BY状態でも操作することができます。

1 放送局をプリセットしておく

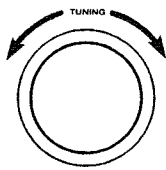
2 プログラム設定状態にする



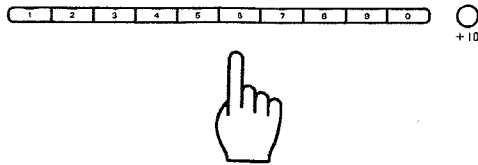
3 PROGRAM [A] をセットする

①放送局を選ぶ

本体



または

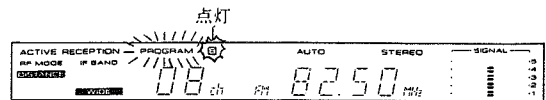
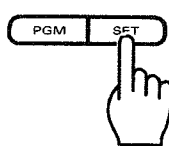


放送局を変更しない場合は、手順②に進んでください。

リモコン



②SETキーを押す

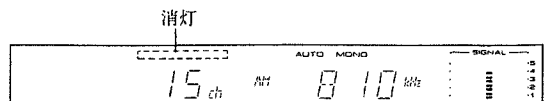
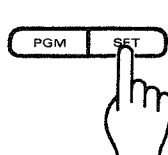


PROGRAM [B] PROGRAM [C] を続けてセットするときは、手順①、②を繰り返します。

●初期設定は、1chがプログラムされています。

4 プログラム設定を終了する

PROGRAMインジケータが消灯するまで繰り返し押します。

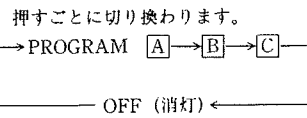
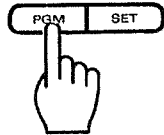


本機は、市販のオーディオタイマーを利用して電源をON/OFFすることによりラストチャンネルまたはプログラム内容を選ぶことができます。

■ ききたい放送局を1回だけ受信する

■ プログラム順に受信する

1 PROGRAMをOFFにする



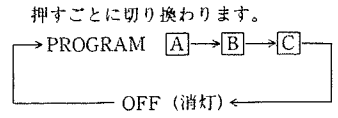
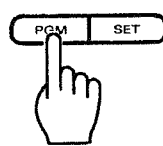
- PROGRAMインジケータを消灯させる。

2 ききたい放送局を受信する

3 タイマーを設定する

- チューナーの電源はONの状態のまま、タイマー側でAC電源をOFFにします。

1 PROGRAMを選ぶ

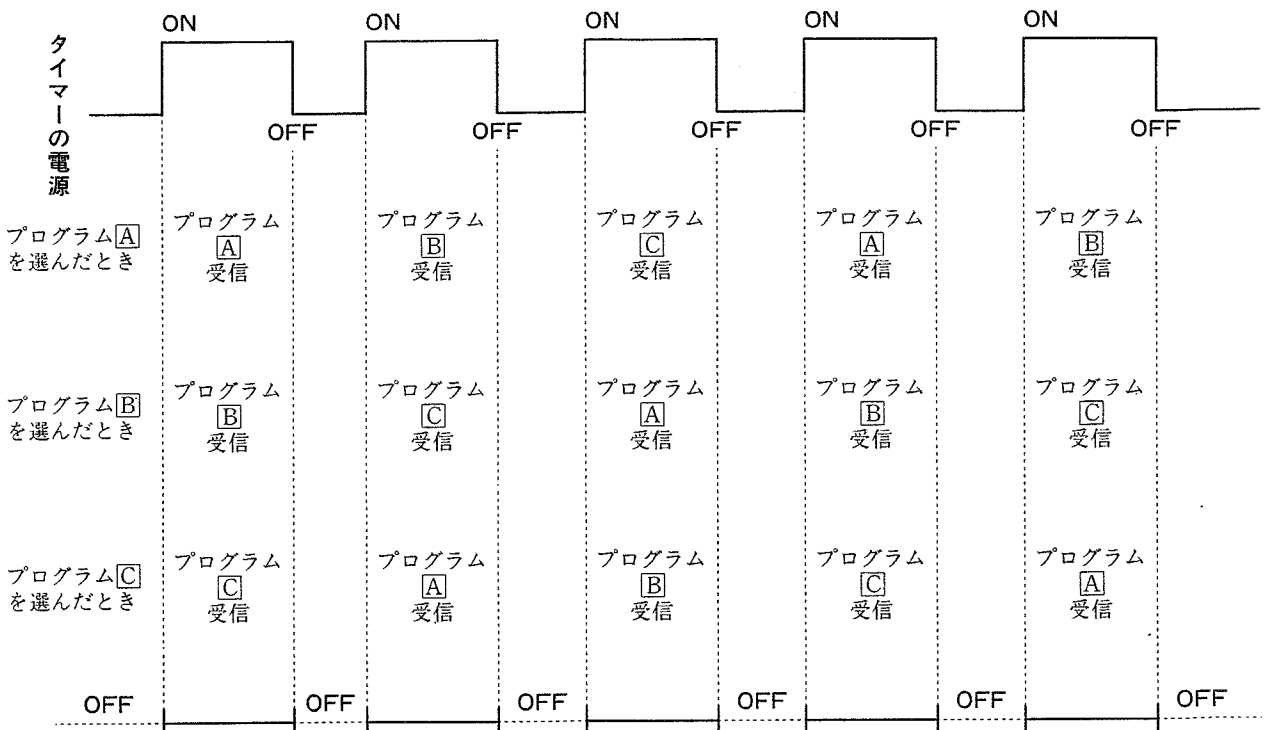


- あらかじめ受信したい局をプログラムしておく

2 タイマーを設定する

- チューナーの電源はONの状態のまま、タイマー側でAC電源をOFFにします。
- タイマーのON/OFFに対応して下の表のように受信局が選ばれます。

タイマーのON/OFFに対応した受信の変化



- 以降はプログラム[A] [B] [C]を繰り返し受信します。
- 実行中のプログラムを表示します。

FM放送受信時の便利な機能

各操作キーは押すごとに切り換わります。

アクティブレセプション ACTIVE RECEPTIONキー

ACTIVE RECEPTIONキーを押すと、インジケーターが点灯します。この状態でTUNINGアップダウン、またはプリセット呼び出しすると、RF SEL、IF BAND、オートステレオ/HI BLEND/MONOを自動的に切り換え、電波状況にあった適切な受信状態が得られます。

選ばれた受信状態は好みによって変更することができます。

セレクター RF SELECTORキー

RFをDIRECTとDISTANCEに切り換えることによってRF相互変調や混変調ひずみなどを少なくすることができます。

DIRECT：電波が強い地域において、RF相互変調、混変調ひずみなどが少ない状態で受信することができます。

DISTANCE：遠距離の放送局を受信する場合、SN比の良い状態で受信できます。

バンド IF BANDキー

中間周波数の信号の追加帯域をWIDE（広帯域）、NORMAL（通常帯域）、NARROW（狭帯域）に切り換えることができます。

WIDE：通常はWIDEにしておきます。ひずみの少ない良質の音を受信することができます。

NORMAL：WIDEで受信時、隣接局の妨害で放送がききとりにくいとき、NORMALにします。

NARROW：NORMAL状態でも隣接局の妨害がとりきれない場合NARROWにします。

MODEキー（オートステレオ／HI BLEND／MONO）

オートステレオ：通常はオートステレオにしておきます。放送内容（ステレオ放送、モノラル放送）に合わせて自動的に切り換わります。このときHI BLENDインジケーターとMONOインジケーターは消灯します。

HI BLEND：ステレオ放送受信時、雑音が多いときHI BLENDにします。ステレオ放送のままでも雑音が少なくなります。HI BLENDインジケーターが点灯します。

MONO：HI BLEND状態でさらに雑音があるとき、MONOにします。放送はモノラル受信になり、雑音がさらに少なくなります。ディスプレイのMONOインジケーターが点灯します。

ご注意：

AM放送受信時は、機能しません。

ラストチャンネルメモリー

電源をONにしたとき、または放送バンド（AM、FM）を切り換えたいとき、最後にきいていた放送局を受信します。

メモリーバックアップ

一度記憶したプリセットメモリーの内容は、電源コードを抜いても3日間はメモリーバックアップをしています。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障と思われる症状ですが……

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

| 症 状 | 原 因 | 処 置 |
|--------------------------|--|--|
| 音が出ない。 | ●アンプと接続されていない。 | ●オーディオコードでアンプと接続する。 |
| 放送局が受信できない。 | ●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 ●アンテナに入ってくる電波が弱い。 | ●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。 ●遠距離にあるところではFM専用外部アンテナ（5～8素子）を建てる。 |
| 数字キーを押しても受信できない。 | ●呼び出したチャンネルに放送局をプリセットしていない。 ●長い間、電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。 | ●放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 |
| 雑音が入る。 | ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 | ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。 |
| IF BANDがNARROWのときに音がひずむ。 | ●放送局の音声レベルが高いため。 | ●IF BANDをWIDEまたはNORMALにする。 |

ご注意：

1. 本機はマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜いてからあらためてご使用ください。
2. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書—この商品の保証書は別途添付しております。必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
2. 保証期間—お買上げの日より1年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッドの営業所が無料修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年間です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドの営業所に、ご遠慮なくご相談ください。

サービス依頼について

本機の修理を依頼されるときは、本体のままお渡しにならないで、必ず何かに包装してお渡しください。本体のまま修理にだされますと、途中の事故等で外観に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

※包装材はアフターサービスや引越しの際大切な機器を保護するためにご利用ください。

定 格

[FMチューナー部]

| | |
|---------------------------------|--|
| 受信周波数範囲 | 76MHz~90MHz |
| アンテナインピーダンス | 75Ω不平衡 |
| 実用感度(モノラル) | 10.8dBf(0.95μV, 75Ω) |
| 高調波ひずみ率 | モノ 0.007%(1kHz, WIDE) 0.02%(50Hz~10kHz, WIDE) ステレオ 0.015%(1kHz, WIDE) 0.09%(50Hz~10kHz, WIDE) |
| S/N比 | モノ 95dB(85dBf入力時) ステレオ 86dB(85dBf入力時) |
| ステレオセパレーション(1kHz) | 60dB |
| (50Hz~10kHz) | 50dB |
| キャプチャーレシオ(WIDE) | 1dB |
| (NORMAL) | 1.4dB |
| 実効選択度(±400kHz) | 60dB(WIDE) |
| イメージ妨害比 | 90dB |
| IF妨害比 | 110dB |
| スプリアス妨害比 | 105dB |
| AM抑圧比 | 68dB |
| サブキャリア抑圧比 | 68dB |
| 周波数特性(30Hz~15kHz) | +0.5dB, -1.0dB |
| 出力レベル/インピーダンス(FM: 1kHz, 100%変調) | |
| 固定出力 | 800mV/600Ω |

[AMチューナー部]

| | |
|--------------------|----------------|
| 受信周波数範囲 | 531kHz~1602kHz |
| 実用感度 | 10μV(250μV/m) |
| SN比 | 50dB |
| 全高調波ひずみ率 | 0.35% |
| イメージ妨害比(ループ) | 40dB |
| IF妨害比 | 50dB |
| 実効選択度 | 30dB |
| 出力レベルおよび出力インピーダンス | |
| (AM: 400Hz, 30%変調) | 240mV/600Ω |

[電源部・その他]

| | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 電源電圧・電源周波数 | AC100V, 50Hz/60Hz |
| 定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示) | 15W |
| 寸法 | 幅 440mm 高さ 97mm 奥行 331mm |
| 重量 | 正味 4.5kg |

これらの定格及びデザインは、開発に伴い予告なく変更になることがあります。

アフターサービスのお問い合わせは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問い合わせは、
お客様相談室をご利用ください。
電話(03)3486-5515

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

東京都渋谷区渋谷2-17-5(シオノギ渋谷ビル)〒150
電話(03)3486-5511